

令和元年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

3年

教科	指導上の課題の分析	指導のめあて	授業改善の視点	評価（成果と課題）
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○読書への関心意欲は高いが、文章を正しく理解したり、叙述を基に読みとったりする力を伸ばす必要がある。 ○文字や漢字を正しく丁寧に書くことに課題がある。語彙が少しずつ増えているが、自分の表現として生かす力を伸ばす必要がある。 ○自分の意見を発表したり、スピーチしたりする時に声の大きさや強弱に気を付けて話す力を伸ばす必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大事な言葉に着目して読むことができるように学習活動を工夫する。 ○新出漢字を確実に覚えられるように学習活動を工夫する。分からない言葉は進んで国語辞典を使って調べたり、文章の中で既習の漢字を使ったりできるよう指導する。 ○話す時には、目的意識や相手意識をもって話したり聞いたりするようにさせ、筋道を考えたり、話の中心に 	<ul style="list-style-type: none"> ○「問われていることはなにか」を確認してから再度読むことや見直すことを指導する。 ○ドリルを使用して反復して書き取り学習を行う。とめ・はね・はらい等細かい所まで確認し、直して提出させる。分からない言葉や書けない漢字が出てきた時には国語辞典を活用することを習慣化させる。 ○全体に話す時、少人数グループの中で話す時、隣の人と話す時など、様々な場を設定し話す機会を多く作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「問われていることはなにか」「大切なことはなにか」を意識して読むことで文章を正しく理解する力がついてきた。 ○年間を通して、漢字の学習には丁寧に取り組んできた。学期末のテストやミニテストで成績の向上が見られた。 ○話す機会を多く設けたが、どんな言葉を使って話すのか、どんな反応をして話

	<p>る。また、相手に分かりやすいよう筋道を立てて話したり、話の中心に気をつけて聞いたりする力も伸ばす必要がある。</p>	<p>気をつけたりできるように工夫する。</p>	<p>○適切な声の大きさや速度などを考えられるようにする。 ○練習する時間や音読する場を増やし、自信をもって発表できるように工夫する。</p>	<p>し合いを充実させていくのかに課題が残った。話し合いの基本の形を示していく必要があると感じた。</p>
社会	<p>○地図の読み方や活用の仕方を丁寧に指導する必要がある。</p> <p>○地域や区内の様子に対する興味関心は高いが、課題を立てたり、課題を解決する方法を身に付けたりする力を育む必要がある。</p>	<p>○地図の基本や地図記号などは、知識として繰り返し学習の機会を設けて習熟させる。</p> <p>○体験的な活動を通して興味・関心をもったことから課題作りができるよう、問題解決型の学習活動を重視する。</p>	<p>○社会科学習に限らず、日常的に東西南北を意識させたり、地図を積極的に用いたり、地図記号のミニテストを行ったりする。</p> <p>○共通体験として見学などを位置付ける。</p> <p>○教材に向き合い、課題を立てる時間を確保すると共に、資料収集の仕方を例示する。</p>	<p>○日常的に方位や防災設備を意識させることで、社会科学習の知識が定着させることができた。</p> <p>○社会科見学は有効であったと感じる。見学後の新聞もしっかり作成できていた。</p>
理科	<p>○意欲的に学習する児童が多い。事物を観察して記録する力に個人差が見られる。</p> <p>○自然事象や観察結果をもとに自ら考え、共通点を見出したり、比較して考察したりする力が十分でない。</p>	<p>○観察する時の視点を把握させ、よい観察記録を周知させる。</p> <p>○観察結果を記録するだけでなく、事象を比較したり、関連付けて考えたりできる力をつける必要がある。</p>	<p>○観察カードをかく前に、観察する視点を示し、記録のしかたを確認する。</p> <p>○比較する視点を示し、児童同士の話し合いから共通点や差異点を見出せるようにする。また、得られた結果を考察し</p>	<p>○視点や疑問をもって観察や実験に入ることで、興味関心をもって取り組むことができた。</p> <p>○実験の結果を比較し、変化の有無や二つの事象の違いに気付くことができる</p>

			て、課題を解決していく学習過程を丁寧に指導する。	ようになってきている。
体育	<p>○体を動かすことは好きな児童が多い。安全に気を付け、勝敗を受け入れて友達と仲良く運動できるようにする必要がある。</p> <p>○ゲーム領域や児童の日常の遊びの中で取り入れられている運動はよくできるが、器械運動や鉄棒運動など運動経験が乏しいものもある。</p>	<p>○友達と協力し互いに教え合うことで、新しい発見があったり、新しく達成できたことが増えたりすることを実感させる。</p> <p>○苦手意識をもたないよう、段階を追った活動（スモールステップの場）を設定し、運動の喜びや楽しみを味わうことができるようにする。</p>	<p>○チームの中で協力したり、教え合ったりする機会を多く作る。また、授業の終わりにどのようなアドバイスをもらったか、振り返りを行う。</p> <p>○自分の力に合っためあてや場を選択して取り組めるように、運動のしかたをより具体的に示すようにする。</p>	<p>○友達と教え合う機会を多く作った。授業の最後にはできるようになったこと、次時の課題など振り返ることで、次の授業への意欲に繋がるようにした。</p> <p>○様々な練習の場を提供することで、自分自身と向き合ったり、同じ課題をもつ友達とアドバイスをしたりしながら練習に取り組むことができた。</p>
総合	<p>○調べ学習に対する意欲は高いが、自分で課題を設定する力を伸ばす必要がある。</p> <p>○課題解決のための資料活用能力を伸ばす必要がある。集めた資料をそのまま引用するのではなく、活用する力を伸ばす指導が必要である。</p>	<p>○興味・関心を高め、どんなことを課題にしたらいいいのか分かるようにする。</p> <p>○他教科と関連させて、要点をつかむ学習を積み重ねる。テーマに沿った資料から自分で必要な部分を取捨選択できるようにする。</p>	<p>○気になったことを課題作りへ生かせるよう、チャート等を使って課題の立て方に慣れさせる。</p> <p>○資料を自分の言葉でまとめる方法を示していく。他教科でも、自分の考えが課題に沿ったものか考えさせるようにする。</p>	<p>○自分が疑問に思うことから課題をもって、調べ学習に入ることができるようになってきた。</p> <p>○資料を写すだけでなく、自分の言葉を使ってまとめる力が付いてきている。</p>

<p>外国語活動</p>	<p>○楽しく積極的に活動に取り組んでいる児童は多いが、英語での表現が難しいことや英語でのやり取りに慣れていないことから、進んでコミュニケーションを図ることが難しい児童もいる。</p>	<p>○ジェスチャーや表情などを活用し、積極的に友達やALTとコミュニケーションを図ろうとする態度を育む。</p>	<p>○本時のキーワードセンテンスや単語を繰り返し練習する。 ○アクティビティは、児童が分かりやすいルールにして、デモンストレーションを通して、やり方を理解させる。 ○アクティビティの中間評価にて、楽しくやり取りしている児童の姿を褒める。</p>	<p>○繰り返し発音することで英語に親しみながら活動することができていた。 ○アクティビティも簡単なルールで、児童がしっかり理解して活動に取り組んでいた。</p>
--------------	--	---	---	---